

# 『本州縦断の記』

曾我部成一

「もう4年も経ってしまっただか……」研究室の窓の外を眺めながら感慨に浸る。長いようで短かった大学生活。色々あったが他の大学生生活はやはりサイクリング抜きでは考えられない。新歓ラン4回、春合宿2回、夏合宿3回、その他フリーラン教知れずといふ具合。それ以外には志出得も思い出はあがるが、今回は研究室の夏休みを利用して走った青森—下関 1700 kmの事を書こうと思う。

まず、何故にこのランを行なったかについて、合宿その他のランは確かに楽しかった。クラブの連中と2週間、生活の全てを共にできた事は貴重な体験であった。しかしいつか思う事、それは「走り足りない」の一語であった。4年になる前の春休みは、工場見学などの関係で合宿にも出ず、自転車にも乗らず、何となくだらだらと過ごしてしまった。4年になるとイラ立ちが募るばかり。今年中に何かやらねば悔いを残して卒業という事にならぬと思う。そこで考えついたのがこの青森—下関ランであった。

7月10日間で1700 kmを走るといふ事で1日7目標は200 km。今までに走った1日7最高距離は140 km程度なので全く未知の距離である。そこで、5月からはほとんど毎日、体育館横のト

レセンに通った。悪友土井と共に三浦半島一周フリーラン、河口湖までの往復ランなどやった。そして8月2日夜、急行八甲田に乗り込んだのである。

☆8月3日(金)

6時過ぎ青森駅着。偶然に志波・金井・酒井等と会う。一語に記念撮影をし8:30青森駅をスタート。いよいよ始まった。何やらエラク興奮気味、「先は長い」と自分に言い聞かせる。10:30弘前駅着。駅前にたまたましている北大CCの中に高校の同級生で体操部の仲間でもあり、たまごトに出会う。全く偶然と口恐ろしい。別れた後で写真を撮らなければならぬ事を悔やむ。12:00能代駅着。本日はココを寝ることに決めた。年に一度の花火大会とかで、俺もビールを飲もうから12:00りと観賞。本日の走行距離 144km。

☆8月4日(土)

5:20能代駅発。気温20℃、少し寒い位だ。8:30秋田駅着。スター・マヨニビルでMorning Set ブラッパッドの朝食。しかし予想外の体調の悪さにパンが食べられなかった。13:30金浦駅着。ビールを飲んで昼寝。有耶無耶の関所近くで雨が本降りとなってしまい、吹浦まで4km位の地点でバス停に駆け込む。ラジオの天気予報では「大雨洪水警報」と言っている。結局このバス停に寝る事になった。国道沿いの為、車の往來

がもつ。夜中には雨が吹き込んできたのでベンチの上に避難。おかげで寝返りまわった途端落下。本日の走行距離 145Km。

☆8月5日(日)

朝、人の声で目覚めた。バス停は働きに出る人達の集合場所らしい。少し話したか東北弁はまるで外国語、良く聞きとれなかった。相変らず天気は最悪状態。強い風、どしゃ降りの中を酒田へ向けていたずらペダルをこぐ。時速は10km程度。酒田を経て鶴岡へ。全身が濡れなっていて大事を取って民宿に泊まる事にした。しかし、適当に荒れた日本海は見応え十分であった。本日の走行距離 92Km。

☆8月6日(月)

いよ——新潟県に突入。村上——新発田を経て13:45新潟駅着。さよがにデカイ街だ。新潟大で休憩し再び走り始める。夕方にはなると調子が出る。柏崎まで走る事にした、タイトラン覚悟であったのに粟生津駅付近で又々雨。しばらく雨宿りしたが止みそうも方りつて我慢しきれず走り始める。が、降り方はとてつらくなる一方。20:00頃出雲崎駅で宿泊を頼んだところ、「隣の無人駅へ行け」と戻り出される。血も涙も無い駅員に当たったのが運のつきが。本日の走行距離 170Km。

☆8月7日(火)

「昨夜泊まった小木之条駅で知り合ったおトさんに写真を撮

ってもらう。昨晚ロクに食やマリないと言えと「若くて夜々  
盛りつモノがえん方事にヤイカンダ」と戒められちゃう。  
柏崎までは又雨。俺は雨男なのか？ 羊はヤケクソであった。  
糸魚川では話のわかる巡査に会えた。ここに治まりたか、た  
が今までの運れを取り戻す為、先を急ぐ。親知不取で埼玉県  
のサイクリスト友人に出会い越中宮崎まで一踏に走る。結局  
黒部川血くのバス停で寝た。 本日の走行距離 150 Km。

☆8月8日(水)

4時起床。24時間自動販売機コーナーで恐ろしげな顔付き  
のダンブの運ちせくと話をする。「俺達にとって、オマエら  
の様な自転車が一着コワイ」とか。お互い様だ。富山-高岡  
と通き金沢着 11:40。乗六圓は入場料100円。時間と金の節約の  
為バス。福井駅を18:00頃通過し19:00過ぎ鯖江に着く。取巻恐  
怖症に陥っていた為、荷物の積み込み口でこっぴどと腹袋に  
くるまったのだが…… 本日の走行距離 207 Km。

☆8月7日(木)

3:15頃、列車に荷物を積み込みながら、と叩き起こされた。  
任方方いつでござへ起き出しそのまま出発。7:00には敦賀  
に着いてしまった。福井-京都の県境でサイクリストに会う。  
会社をやめ放浪の旅に出ているという。再会を約束して別れ  
る。天の橋立は大した所ではない。20:15 久美浜駅着。頂度

聲りとぶつかり深夜まで眠れず。本日の走行距離 212km。

★8月10日(金)

寝不足の体にムキ打って走る。11:00 彦坂駅着。歩道橋下で1時間程昼寝。おれにしては素晴らしい海だ。特に「海金剛」付近は最高だ。アツアツラッコの道はいただけ方が……鳥取砂丘は日本とは思えない光景であった。八橋駅に泊まる事にした。駅前の喫茶店のマスターがコーヒーを淹れてくれたのは感激。本日の走行距離 162km。

★8月11日(土)

4:30 出発。鳥取の道はほとんど平坦。米子-松江と通過し出雲大社着 10:50。大社駅は古風で立派な駅だ。しかし鳥根の道はひどい。大田-江津の40kmは平坦皆無のアツアツラッコ。江津に着いたのは 17:00 過ぎ。しかし明日は10日目。先を急ぐ。西後田駅で走り出されたのは 20:00 過ぎ。足はとくに限界に達して走る。右の方には、材木工場のガレージに忍び込み、トラックの荷台で寝た。本日の走行距離 218km。

★8月12日(日)

3:00 起床。またすら下関を目指す。山口のアツアツラッコは相当なもので、しかし下関の事を思うと頑張らざるを得ない。萩-長門と壱洞に通過。特牛付近で関西大学のサイクリストに会う。日本縦断28日目とか。今日は友人の親戚の家に泊ま

るという。さすがに大阪人はセこい。彼とは梅ヶ原で別れた。  
そして……遂に来ました下関 6:45着。あーしんどかった。でも  
無事故で良かった。あとは旅館の風呂に入り、うまい物食って  
インビリするだけだ。 本日の走行距離 212 km

という京でこの話はオシマイ。実際はも、と色々な体験をし  
たが熱面の都合にカットしたので悪しからず。

さて最後に後輩諸君に一言。人それぞれ、自分に合った走り  
方があるので一概には言えないが、長距離ソロランを一度はや  
ってみて欲しい。合宿などでは、どうしても身内で固まってし  
まう傾向があり色々な人と話ができなからた。又、何事も自  
分で判断せねばならない厳しさはあるが、それだけに自由であ  
り楽しみもある。シユラフのみ持って、どこにでも寝てやる式  
の旅もオモシロイと思う。暗くなってから駅を走り出さぬ寝床  
を求めてさまよう様な経験、中々でき方々と思う。まあとにかく、  
自分のやりたい事はどんへやっつて悔いの無い大学生生活正  
送ってもらいたいと思う。